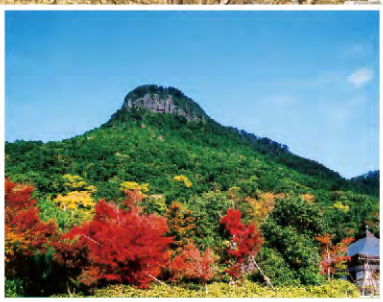
Kanmuri-dake
冠
Ichiki-Kushikino city

冠岳（かんむりだけ）

歴史自然の里

徐福像より冠岳を望む

御衣黄(緑色の桜)



冠岳(西岳)

望嶽亭と水鏡

鎮国寺

鹿児島県
いちき串木野市

冠岳の由来

『東海に蓬莱（ほうらい）の島あり、その神仙から不老不死の霊薬を求めよ』

今から約2,200年前、中国の秦の始皇帝から命を受けた方士の徐福は、串木野の冠岳を訪れ、その景色のあまりの素晴らしさに、自らの冠を解いて頂上に捧げました。そのことから、この地を冠岳と呼ぶようになったとの説があります。

また、霊峰冠岳は、南九州古代山岳仏教発祥の地であり、真言密教開祖の地でもあります。

東岳、中岳、西岳の三つの峰からなる冠岳の姿は、遠くから眺めると風折烏帽子（貴人の冠）のように見えるといわれ、その美しさは「三国名勝図会」に記されているほどです。

徐福伝説

今から2,200年前（弥生時代の初期のころ）、中国では秦の始皇帝が春秋戦国の六ヶ国を統一していました。その始皇帝に斉の国の人徐福（≒徐市）は、「はるか東の海に蓬莱（ほうらい）・方丈（ほうじょう）・瀛洲（えいしゅう）という三神山があり、そこに仙人がおります。私は斎戒して汚れなき童男童女を連れ、不老不死の仙薬を得たいと思います。」と願い出ました。そこで始皇帝は徐福に、童男童女数千人をつけ、海上に送りだして仙人を求めさせました。（秦始皇本紀の始皇二十八年（B.C219）の条『史記』司馬遷）

しかしその後、何日もの航海の末に徐福がどこに到達したかは不明ですが、「平原広沢（へいげんこうたく）」の王となって中国には戻らなかったと書かれている中国の歴史書があります。

この「平原広沢」は日本であるともいわれており、徐福が上陸したとする「徐福伝説」は、ここ冠岳をはじめ、佐賀県佐賀市、三重県熊野市、和歌山県新宮市、山梨県富士吉田市など日本各地に存在します。

県内有数の紅葉スポット

年代橋

年代橋は、花川渓流再生砂防事業等により冠岳花川砂防公園内に新たに建設された橋で、全部で10橋あります。

この花川にかかる10本の橋は「年代橋」として、花川の下流側から「10代橋」「20代橋」・・・・「100代橋」と、ひとつの橋を渡るごとに徐福が不老不死の仙薬を求めて訪れたとされる霊峰冠岳に近づき、健康に年代を重ね、すべての橋を渡ることによって仙人のような長寿を得るという物語を表しています。

徐福橋（10代橋）

方士徐福が、ここ冠岳を訪れ、不老長寿の薬草を求め、霊峰冠岳に向かう五反田川に架かる最初の橋。この世に生を受け、人生の旅立ちを意味しています。

仙人橋（20代橋）

10代橋と並んで、花川に架かる木橋。仙人のような不老長寿になることを夢見て、花川の上流、100代橋の向こうにある桃源郷をめざし渡っていきます。

昇龍橋（30代橋）

橋の欄干は、2匹の龍の形をモチーフにしており、若者たちの成長を祈願しています。

蓮心橋（40代橋）

「蓮」は仏の土台である「蓮花台」を連想させ、蓮は修業者が修行を行い、仏心のような「心」をもつことを表しています。人と人の交流を意味し、また、「蓮」は仏教の起源を象徴しています。この橋の欄干には、徐福伝説の物語が石彫りされています。

蓬莱橋（50代橋）

徐福が不老不死の仙薬を求めて蓬莱の国へ渡来した伝説から名付けられています。50歳代は、100歳の半分ー人生の中間を表すことから、花川の中間地点に架けられています。

花川橋（60代橋）

冠嶽神社への参拝の入口となり、地元の人々の心にある神社の存在を尊重しています。

神師橋（70代橋）

冠嶽神社の「神」と大師堂の「仏」を結ぶ橋。天間ー神ー仏。密教ー印度ー中国ー日本の異文化混合の空間。日本人の神仏習合の思想から名付けられています。

天寿橋（80代橋）

中国では80歳は「天寿」を表しています。80歳を越えることは人生の関門であり、これを越えれば90歳、100歳となる。この上は仙人世界の入口であり、80歳は「天寿」、90歳は長寿と呼ばれています。

神仙橋（90代橋）

神仙とは不老不死の世界に住む人（仙人）のことであり、90歳代にして仙人の域に達することを願って名付けられています。

雲天橋（100代橋）

聖域に近づくサイトに渡る橋として、彼岸へ通り着く通い路をイメージしています。中国には「雲の上には天があり、天の外にはさらに天がある。」という無限思想があり、これを表しています。

冠岳を楽しむ

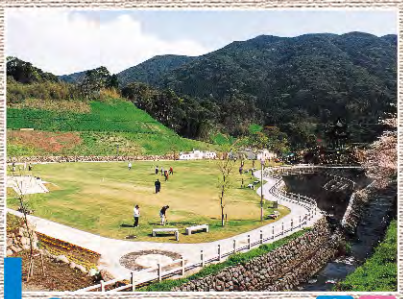
Kanmuri-dake
Ichiki Kushikino City

④ 砂防堰堤(さぼうえんてい)

景観に配慮してコンクリートの上に擬岩(ぎがん)で造られています。

⑤ 望嶽亭(ぼうがくてい)と水鏡

中国交流の象徴、また冠岳花川砂防公園のシンボル。中国で設計・施工し、中国の技術者の指導を受けて建築されました。



⑥ 多目的広場

WC

多目的広場は「かんむりだけ山市物産展」の会場となるほか、広く交流活動に利用できます。

広場内には、身体が不自由な方などにも利用できるよう多目的トイレが設置してあります。

⑦ せせらぎ水路

水棲動物を身近に触れて観察できる水路など、子供たちに体験学習の場を提供します。5月中旬～6月初旬にかけてはホタルも観賞できます。

⑧ 蓮苑(れんえん)

湧水を利用した池や「亭」「洞門」を配し、中国文化との交流の架け橋となることの願いが込められています。6月～8月に睡蓮や蓮の花が楽しめます。

⑨ 健康広場

健康をテーマにして、ツボ踏通路や健康器具などを整備しています。

⑩ ウォーキングトレイル

歩きながら冠岳の歴史と自然を楽しむことができる全長約8kmの散策道路です。

⑪ 小水林間広場

WC

串木野ダムに隣接し、子どもの遊具や草スキーの施設もあり、親子連れで楽しめます。

⑫ 串木野ダム(ふれあい橋)

春には約1,000本の桜が見事です。

おすすめスポット

Ⓐ 冠岳温泉

内風呂、露天風呂、サウナ、水風呂を完備し、敷地内に国産小麦100%のうどんや地元産の野菜を使った天ぷらなどが食べられる「なごみ庵」があります。

所在地	いちき串木野市冠嶽13668
営業時間	9：00～22：00
定休日	第1水曜日
TEL	0996-21-2626
HP	冠岳温泉 検索

Ⓑ 天然酵母ベーグルカフェ こつ芝

霊峰冠岳に訪れた人々がホッと一息ついて、くつろげるようなカフェ作りを目指しています。

冠岳のやさしい山なみに包まれながら、コーヒーを飲んで、東シナ海を望むことができます。

所在地	いちき串木野市生福7898-3
営業時間	11：00～17：00
定休日	水・木・毎月21日
TEL	TEL0996-29-3221
HP	http://2sumire.com

Ⓒ 冠岳茶屋　椿堂

花川砂防公園傍にあり、オープンテラスで冠岳の自然を感じながら寛げます。自家製のスコーンやピクルスを使った、カレー・スコーンセットがおすすめです。

所在地	いちき串木野市冠嶽13493-1
営業時間	10：00～16：30 (LO16：00)
定休日	火・水曜
TEL	TEL080-6478-0545

いちき串木野市

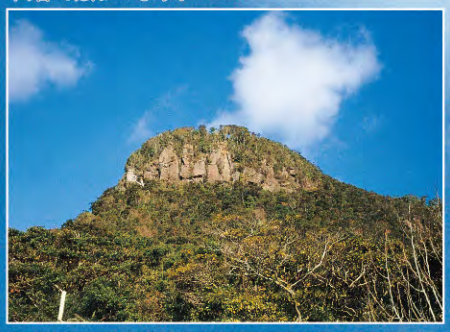
冠岳歴史自然の里

周辺全景図

美しい景観 いちき串木野 新たな魅力

❶ 冠　岳（西岳）

冠岳は八重山山塊に連なる山で、西岳・中岳・東岳からなっており、主峰である西岳は、標高516ｍに達します。
山頂には西岳神社があり、行楽の季節には登山客で賑わいます。



❷ 冠岳展望公園（徐福公園）

串木野市制施行50周年を記念して、2,000年に石像としては日本一の徐福像（高さ6m）を建立しました。

❸ 冠嶽園（かんがくえん）

冠嶽園は、頂峯院跡地に方士「徐福」を顕彰するとともに、徐福の故郷中国との友好交流の願いを込めて作庭されました。

中国では「江南の庭園は天下一、蘇州の庭園は江南一」といわれ、明代、清代に多く造られた中国庭園のメッカである蘇州近傍の庭園の形をモデルとしています。
庭園の様式は「自然式山水庭園」で池泉回遊式の形態をとっています。
（平成４年４月開園）

東岳
中岳
14 材木岳
中岳神社
7 傘石
8 白山神社
9
4 砂防堰堤
1 仙人岩
6 虚空蔵洞
5 不動尊洞
坊主墓
護摩岩
弘法大師(空海)
3
4 冠嶽神社
冠岳交流センター
大師堂
2
3 冠嶽園
冠岳花川砂防公園
次郎工房・
冠岳温泉 A
椿堂 C
6 7 5 9 8
仙人橋
徐福橋
至 薩摩川内市街脇
九州新幹線
旧冠岳小学校
公園
主要地方道串木野樋脇線 39
市道久木野線

登山コース
車 道
県 道

❶ 仙人岩

天台頂峯院の開祖阿子丸仙人がここで難行苦行を重ね、やがて仙人の域に達したことから仙人岩と言われています。頂上からの眺めは、遠く中岳から西岳への連峯と真向かいの大平山(418m)を一望にできる、天下の絶景です。

❷ 大師堂

日本文化の母とまで敬われる真言宗の開祖弘法大師を祀り、冠嶽の歴代の住職、山伏等の供養を行う御堂。仙人岩を背景に坊主どん墓の五輪塔群を従える景勝地。

❸ 弘法大師

平安時代の僧で、日本における真言宗の開祖であり、書道においても三筆の一人。20才で出家し、金剛峯寺の建設の他、土木工事にも尽くし、著作も多く残されています。

また、旅僧として諸国遍歴をしたといわれ、弘法伝説として各地に残る様々な伝説があります。

❹ 冠嶽神社

三十一代用明天皇のころ、蘇我馬子が勅願所として建てた冠岳熊野三所権現のひとつで、祭神は櫛御気野命(素佐之男命)。4月と11月に例祭が行われます。

❺ 不動尊洞

仙人岩の西側の絶壁の中腹にあり、洞窟の奥には高さ1m余りの青銅づくりの金仏、不動尊が安置され、霊験あらたかであるとして、今も尊信を集めています。

❻ 虚空蔵洞

洞窟の中には大山祇神をまつった岩屋神社があり、ここに虚空蔵菩薩の像が安置されていたことから、今もその名が残されています。

❼ 傘石

まるで傘を開いたような形をした岩で、上部が大きく、下部は小さいのに直立している磐石不動の姿をたたえて不動石とも呼ばれています。

冠　岳　を　学　ぶ

～冠岳周辺の史跡～

❽ 白山神社

中岳神社から西へ約300m引き返し、そこから北に30m入ったところに白山岩があり、この岩の中腹の小さなほこらが白山権現社で中岳神社の末社になっています。

❾ 煙草神社

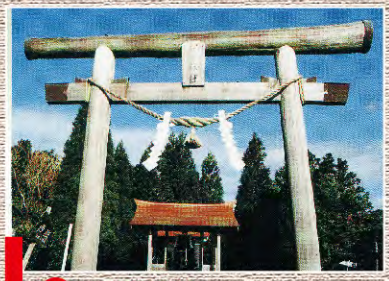
その昔、蘇我馬子が崇峻天皇の怒りにふれて流され、後に都に帰るとき、大岩戸神社の洞窟に記念に煙草をまいたとの言い伝えがあり、珍しい野生の煙草が自生していることから煙草神社と呼ばれるようになりました。

❿ 阿弥陀堂

天台八代の名僧といわれる成賀上人が中岳岩屋から阿弥陀尊像をここに移したと言われています。

⓫ 天狗岩

自然の巨岩が足場の悪い所に、人力で積み重ねられるはずがないというところから、天狗岩と名づけられ、『三国名勝図会』にも「天狗のすむ所」と書かれています。



⓬ 西岳神社

冠嶽三所権現のひとつで頂からの雄大な眺めは格別です。また、かつて西岳路を歩いた歌人与謝野鉄幹が『風の中枯れしすすきの原に入る冠岳の北側のみち』と詠んでいます。

⓭ 経塚

仏教を後世に伝えるため経塔・経筒・経石・経瓦(法華経の文句が書写、あるいは刻書したもの)などを埋めたものを経塚と呼び、平安の中期から近代までつくられ、後には追善供養のために行われるようになりました。

⓮ 材木岳

自然の岩石が積み重なった様子が材木を積んだように見えることから材木岩と呼ばれ、様々な不思議な言い伝えが残されています。頂上には材木岳権現が祭られ、素晴らしい展望が楽しめます。

体験プラン

焼き物体験

徐福伝説が息づく自然豊かな冠岳の麓で、清らかな水と冠岳の土を使用した陶器づくりを体験できます。

連絡先 博布堂 次郎工房 TEL 0996-33-2343

木工ろくろ体験

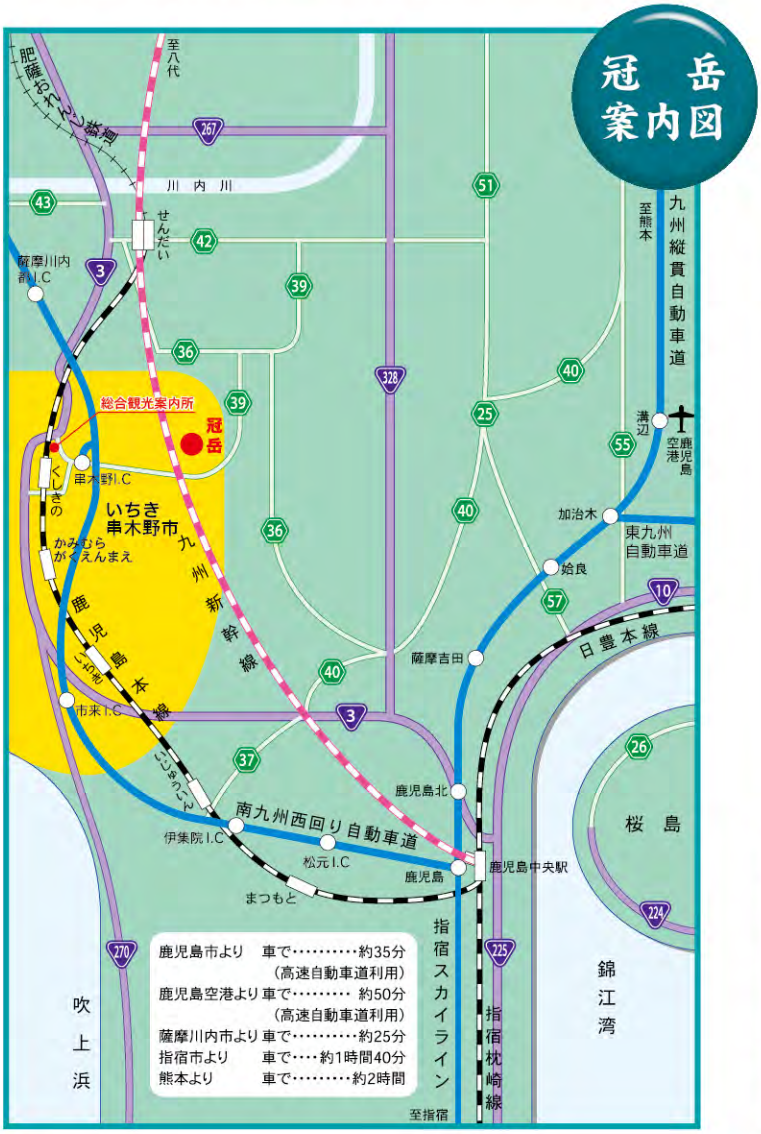
珍しい木工ろくろを使って、木の皿などのオリジナル木製品制作の体験ができます。

連絡先 愛林工房 TEL 0996-32-2451

冠嶽八十八ヶ所お遍路

冠岳は南九州古代山岳仏教発祥の地であり、冠嶽山鎮國寺頂峯院による八十八ヶ所歩き遍路も体験できます。

連絡先 冠嶽山鎮國寺頂峯院 TEL 0996-21-2255



アクセス

- 串木野ICより車で15分
- 串木野駅より車で20分
- 第一交通タクシー 0996-32-2128
- 串木野タクシー 0996-33-1111

問合先

いちき串木野市総合観光案内所
(NPO法人鹿児島いちき串木野観光物産センター)
TEL0996-32-5256 FAX0996-29-3320 E-mail yoka-yoka-info@vivid.ocn.ne.jp

いちき串木野市総合観光サイト
https://ichiki-kushikino.com/